

ジャーナリスト

日本ジャーナリスト会議 (JCJ)
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-8 松村ビル4F
電話 03-3291-6475 FAX 03-3291-6478
メールアドレス: jcj@tky.3web.ne.jp URL http://www.jcj.gr.jp
年間購読料 3,000円 (送料込み) 振替・00190-2-76501



2008. 12. 25

いま日本はどうなっているのか

渡辺治教授講演

オルタナティブを視野に入れ

現場力鍛え、対案提起

反貧困・反構造改革で 運動の合流・連帯を

12月集会



なぜ自民党政権はガタガタになったのか？ 政院教授は「いま日本はどうなっているのか」と題する講演で、縦横に弁舌を振るった。

「展望と課題は、九条の会、反貧困ネットなど改憲阻止と反構造改革の

運動がさらに力をつけること。そして、ジャーナリズムが現場力を鍛え、オルタナティブを常に視野に入れた掘り下げの報道をすることだ、と。

集会には、悪天候にもかかわらず100人を超える参加者が熱心に講演を聴き、「田母神前空幕長論文」問題など質問も多数出された。

集会の冒頭、柴田鉄治JCJ代表委員が、67年前を振り返り、「いままだビラ配布やデモをしただけで逮捕される危ない

社会になっている。再び戦争のためにペンを執らない、の決意を再確認したい」と挨拶した。

渡辺教授は、小泉構造改革が従来の企業社会と自民党政治の基盤を切り

崩し、貧困・格差・地方衰退など社会の破綻を顕在化させた歴史と構造を抉り出した。続く安倍・福田・麻生政権も迷走し、行き詰っている。

保守2大政党制を担う民主党も小沢一郎党首の、無自覚な逸脱により、反構造改革に舵を切った。しかし財界と米国の圧力と党内事情によつて路線は揺れ動いている。

では、どうすれば政治は変わるのか？ 安倍政権を頓挫させ、改憲の流れを変えた「九条の会」

運動の広がり。派遣法見直し、後期高齢者医療制度への国民的怒りを巻き起こしつつある反貧困・反構造改革の運動が共鳴しあい、合流、連帯すること。これらの運動が能力を高め、既存の労働運動を変え、代案を提起する力持つことではないか。

90年代以降、2大政党を重視し、新自由主義・構造改革に迎合してきたマスコミも、現実の貧困、破綻に目を向けざるを得なくなった。ジャー

ナリズムは死んでいない！ 蟹工船ブーム・後期高齢者の実態に根ざして、「現場の力」を大事にしながら、さらにオルタナティブを展望する視野と能力を持つことが重要ではないか。

終了後の懇親会には、渡辺教授も加わり、入会申込をした新会員が自己紹介するなど今年を締めくくる集会にふさわしい盛り上がりを見せた。

阿部 裕

どうしたんだ、小幡君

出版部会代表・小幡時彦君を惜しむ

梅田正己

12月8日朝、突然、全く突然、小幡君死去の通知を聞いた。背後からの不意打ちだった。胸中、

思わず叫んでいた。どうしたんだ、小幡君！ 小幡時彦君。享年69歳。ジャーナリスト会議出版部会の代表のまま去った。一人で出かけた信

州の山小屋での脳出血による急死だった。いつも野球帽にジャンパーというラフな格好だった。振り返ってみると、彼のネクタイ、背広姿は見たことがない。

その資格好どおり行動的だった。毎年夏には佐渡の海に潜りに行っていたし、北海道から沖縄まで旅の話もよく聞いた

（その健康への過信が悲劇を生んだのだ！）。仕事も速かった。講演の記録をとるスピードにいつも瞠目したものだ。

それもそのはずで、彼は出版労連で75年から86年まで書記次長の任にあった。書記次長在任の最長記録だ。書記次長は細

部にも目を配り、組織運営の要となる。

その後、実教出版で編集業務に励み、やがてJCJ出版部会の事務局長となる。ところが03年、

夫人が肺がんに見舞われ、看病に専念したいと退任、後任を大久保紀晴君が引き受けた。

05年春、夫人の葬儀の後、小幡君から長文の挨拶状が届いた。亡き夫人への思いがしつとりとこもったいい手紙だった。

容姿とは逆に、小幡君の本質はシャイな文学青年だと僕は見ていた。手紙はそれを証明した。

数力月を置いて小幡君は出版部会に復帰、06年4月には僕に代わって代表を引き受けてくれた。

すると同年6月、今度は事務局長の大久保君ががんで入院、小幡君は事務局長まで背負うことになる。彼は久保君がテ

ープ起こしをしていた春の例会の記録「沖縄戦・集団自決」と日本軍をめぐって」をブックレットに完成させた。

昨年の初夏、ある集まりの帰途、飲みながら小幡君が言った。安倍内閣の集団的自衛権、黙って見過ごすわけにはいきま

せんよ。そこで急ぎよ組んだのが例会「北朝鮮の脅威」と集団的自衛権」だった。

石ころ道をガラガラと進んでいた車輪の軸が、ゴキリと折れた。どうしたらいいい？ 諸君…。

08年「ジャーナリスト」10大ニュース決まる

「2008年十大ニュース」が別掲のように決まった。

選考会は12月4日に柴田鉄治、石崎一二代表委員ら8氏が参加して事務所で開催された。地方支部はじめあらかじめ寄せられた候補案をもとに2時間半にわたる議論を経て選考した。

(討議経過2面)

J C J 選定

- ①世界金融危機で新自由主義の破綻が露呈、煽ったメディアの責任は？
- ②麻生政権、早くも末期状態に、米国民はオバマでチェンジに賭ける
- ③立川ビラ配布に最高裁有罪判決、麻生邸見学ツアーで逮捕、「言論・表現の自由」戦前に逆行
- ④憲法9条、世界へ飛躍、「9条世界会議」の開催と航空自衛隊イラク派遣で名古屋高裁が違憲判決で改憲ムード吹っ飛ばす
- ⑤自衛隊トップの驚くべき歴史観・田母神論文の背景や改憲狙いを抉れぬメディア

- ⑥「横浜事件」「沖縄戦集団自決」で、画期的な司法判断続く
- ⑦貧困・格差・社会のヒズミが拡大、秋葉原事件など無差別殺人も続発
- ⑧出版不況が深刻化。総合月刊誌など続々休刊へ
- ⑨広告費の減少著しく、新聞・テレビ界も危機的状況に
- ⑩映画「靖国」の内容めぐり政治家の介入で、上映中止騒動広がる

番外・筑紫哲也さん逝く



08年「JCJ」全国交流集会in北海道・夕張に参加した際の元気な小幡時彦さん(08年・10・4)

終了後の懇親会には、渡辺教授も加わり、入会申込をした新会員が自己紹介するなど今年を締めくくる集会にふさわしい盛り上がりを見せた。

阿部 裕

10大ニュース選考会の議論から



▲第4次横浜事件再審開始の決定を受け、記者会見する請求人の斎藤信子さん、小野新一さんと佐藤博史弁護士。横浜弁護士会館で10月31日。

とで、指摘しておかないとまずいのは。G 政治家レベルでは確かにふがないが、憲法9条が輝きを取り戻し、改憲論調が凋落した1年であったと思う。憲法9条世界会議の成功、そして改憲論者の「読売」調査でさえ、改憲世論は少数派となった。

踏みえた判断もあった。D 真実は権力でも曲げられないということだ。H 警察・検察の強権さは、無差別殺人事件などによる社会の動揺を力で抑え込もうとするからではないか。頻繁な死刑執行にも込められていると思う。C 世論側にも加害者を

A メディア界の動きはどうか。C 独り勝ちのネットですえ、かげりが出てきた。Kは、改変問題で最高裁勝訴も奪い取った。D 期待権の問題ではなく、内部的自由の問題が問われたのに論点がすり替えられた。E 経営委員会の高圧ぶりは相変わらず。中身の改革なしに受信料値下げだけを決めても「安かろう悪かろう」にならない

トヨタ、日産など自動車12社で、派遣社員切りが続出、1万4千人に達するという報道に続き12月に入ったら、正社員を含めたクビ切り旋風が吹いている。日本IBMが千人規模、ソニーが1万6千人、東芝、キヤノンも数百人規模…。ひどい年の瀬になった▼労働者を解雇するには、解雇を回避する努力を尽くして、どうしてもほかに方法がないときに、公平

に、労組と協議して初めて実施することが許される。判例でも確立した「整理解雇の4要件」だ▼労組や労働弁護士、共産、社民の両党などはこの法制化を求めているが、経営側は「解雇の自由」を主張して、堂々と押し出しているのが今回の「クビ切りラッシュ」ユ。一方で企業利益は、

ざっとみて、トヨタが1700億円、日本IBMは940億円、東芝は700億円、とても労働者を整理しなければやっていけない、などというものではない▼クビ切りも雇止めも、ただ数字で報道される。しかし、重要なのは、そのひとり一人に生活があり家族があるということだ。派遣労働者でいえば、次の職場に前に、すぐ住む場所がない。昔なら故郷に帰れば何とかあった。だがいまは、そうではない。ここはとにかく、大企業にこの人員削減をやめさせ、中小・零細の場合にも、国と自治体が緊急に対策を講ずるしかない▼

支部だよ
J C J福岡支部は『ジャーナリスト福岡』42号を発刊した。
11月3日、警固公園で行われた「08憲法フェスタ in 天神」の模様と、11月15日に福岡の相良市民センターで開催された映画「荒木栄の歌が聞こえる」の鑑賞会の二つの記事が掲載されている。憲法フェスタは今年で4回目。今年は音楽や朗読などが中心で、8歳のロックンローラーも登場し会場を盛り上げた。J C J福岡支部からは

●コミックJ C J●
江草 普一
俺の業績ナッシング

A 影響度、衝撃度で金融危機を1位に挙げることが多い。
C 危機を作った新自由主義を煽ったのはメディアだが、危機以後も臆面もなく「構造改革」主義者を登場させている。無反省ぶりには呆れる。
B この問題を当初から説いていたのは内橋克人さんだ。93年、日経で長期連載をしていたが、途中で横やりが入ったのか、未完に終わった。
A 2位が難しい。
E 福田首相が安倍に続いて政権を投げ出したのには驚いたが、麻生は輪をかけてひどい。解散もできない。しかし上位に挙げるようなことか。

C イラクへの航空自衛隊の派遣を違憲とした名古屋高裁の判決も画期的だった。
E その反動か、田母神論文の異様さが目立った。こんな歴史認識しか持ち得ない人物が自衛隊

B 違憲判決の名古屋高裁のように画期的なものもあったが、一方で立川反戦ヒラ配布に最高裁が有罪判決を下した。憲法違反の判決だ。
C 裁判ではないが、麻生邸の見学ツアーが逮捕されたのにも驚きだ。
G 無差別殺人事件などに見られるように、社会の不安心理を悪用して強権的に秩序管理をしようという動きの現れだ。
D 戦前帰郷の一つの象徴であって、私は随所に戦前帰郷が見られるように気がする。

極刑にといった不寛容さ、苛立ちが目立つ。
D 光市母子殺害裁判報道に見られるようにマスコミが煽っている面は小さくない。
◇不況下の言論弾圧
B 映画「靖国」をめぐる政治家の介入発言による上映中止の動き、これも言論抑圧として押えておきたい。
D 多くの言論機関、市民団体などが反発し、上映実施にこぎつけた意味は大きい。

ほどで、マスコミはこぞって大不況だ。
D 『論座』『現代』などの硬派雑誌の相次ぐ休刊は、フリーランサー、ノンフィクション作家への打撃が大きい。
G 新聞・テレビは景気の大幅後退を受け、広告大減収、映像・活字離れも進み、夕刊廃止などリストラに懸命だ。
C ジャーナリズムまで一緒にリストラされかねない。
F 北京五輪、「篤姫」で視聴率1位を奪ったNH

か心配だ。
A 触れていない項目はないか。
B NHKで言うところの記者たちのインサイダー取引があった。
C 防衛秘密「漏洩」で一佐が懲戒解雇された。提供を受けた「読売」記者は調べさえ受けずだ。
D それでも萎縮効果は十分ある。
G 筑紫さんが亡くなった。J C Jの集会、討論にも参加しジャーナリズムを熱く議論してきた仲間、先輩として残念だ。

に、労組と協議して初めて実施することが許される。判例でも確立した「整理解雇の4要件」だ▼労組や労働弁護士、共産、社民の両党などはこの法制化を求めているが、経営側は「解雇の自由」を主張して、堂々と押し出しているのが今回の「クビ切りラッシュ」ユ。一方で企業利益は、

ざっとみて、トヨタが1700億円、日本IBMは940億円、東芝は700億円、とても労働者を整理しなければやっていけない、などというものではない▼クビ切りも雇止めも、ただ数字で報道される。しかし、重要なのは、そのひとり一人に生活があり家族があるということだ。派遣労働者でいえば、次の職場に前に、すぐ住む場所がない。昔なら故郷に帰れば何とかあった。だがいまは、そうではない。ここはとにかく、大企業にこの人員削減をやめさせ、中小・零細の場合にも、国と自治体が緊急に対策を講ずるしかない▼

支部だよ
J C J福岡支部は『ジャーナリスト福岡』42号を発刊した。
11月3日、警固公園で行われた「08憲法フェスタ in 天神」の模様と、11月15日に福岡の相良市民センターで開催された映画「荒木栄の歌が聞こえる」の鑑賞会の二つの記事が掲載されている。憲法フェスタは今年で4回目。今年は音楽や朗読などが中心で、8歳のロックンローラーも登場し会場を盛り上げた。J C J福岡支部からは

●コミックJ C J●
江草 普一
俺の業績ナッシング

輝き取り戻した憲法9条

「言論・表現の自由」では戦前へ逆行

新自由主義破綻、自公政権は末期症状

社会のひずみ拡大、マスコミも大不況



▲最高裁は08年6月12日、ハウネット・ジャパンがE T V番組の改変についてNHKを提訴したという「NHK裁判」について、原告の主張を認めた東京高裁判決をくつがえし、NHK勝訴の判決を下した。

視角

に、労組と協議して初めて実施することが許される。判例でも確立した「整理解雇の4要件」だ▼労組や労働弁護士、共産、社民の両党などはこの法制化を求めているが、経営側は「解雇の自由」を主張して、堂々と押し出しているのが今回の「クビ切りラッシュ」ユ。一方で企業利益は、

ざっとみて、トヨタが1700億円、日本IBMは940億円、東芝は700億円、とても労働者を整理しなければやっていけない、などというものではない▼クビ切りも雇止めも、ただ数字で報道される。しかし、重要なのは、そのひとり一人に生活があり家族があるということだ。派遣労働者でいえば、次の職場に前に、すぐ住む場所がない。昔なら故郷に帰れば何とかあった。だがいまは、そうではない。ここはとにかく、大企業にこの人員削減をやめさせ、中小・零細の場合にも、国と自治体が緊急に対策を講ずるしかない▼

支部だよ
J C J福岡支部は『ジャーナリスト福岡』42号を発刊した。
11月3日、警固公園で行われた「08憲法フェスタ in 天神」の模様と、11月15日に福岡の相良市民センターで開催された映画「荒木栄の歌が聞こえる」の鑑賞会の二つの記事が掲載されている。憲法フェスタは今年で4回目。今年は音楽や朗読などが中心で、8歳のロックンローラーも登場し会場を盛り上げた。J C J福岡支部からは

●コミックJ C J●
江草 普一
俺の業績ナッシング



俺の業績ナッシング

関心の広さと絶妙なバランス感覚

筑紫哲也さんを悼む

JCJ 代表委員 柴田鉄治



(撮影＝川田マリ子)

筑紫哲也さんが亡くなった人はいないのではな

した34年組は、入社試験に

近年、日本のジャーナ

59年(昭和34年)に一

多くの人に悼まれ、その

同期生だ。私たちが入社

私たちが同期生の会は「非

常識の会」と称して気炎

を上げていたが、その同

期生には、本多勝一さ

さん、田中豊さん、和田俊

さん、田所竹彦さんとい

った錚々たるジャーナリ

ストがそろっていて「新

聞記者の入社試験に常識

治部からその沖縄特派員

加わる。

日本復帰前の沖縄は、

取材体制としては外国並

みで、筑紫さんは本社政

治部からその沖縄特派員

一緒に仕事をしてみ

筑紫さんの取材力、構成

力、筆力のすごさに舌を

巻いたが、なかでも驚嘆

したの、その筆力だ。

取材班キャップの松山幸

雄さんは、それを見抜い

て、各章が終わることに

おいた「各章のまとめと

次章へのつなぎ」をすべ

て筑紫さんに書かせた。

それは、連載記事に深み

と彩りを与える実に見事

なものだった。

テレビでの活躍が目立

ったため、筑紫さんを話

し上手なテレビ人間と評

する人が多いが、彼の本

質はあくまで新聞記者で

あり、彼の筆力はおし

やべりより数段上のも

のだ。

彼がテレビに持ち込ん

だ「多事争論」は新聞の

コラム記事を意識したも

のであり、それをみて

も彼は根っからの新聞

記者だったことが分か

るだろう。

アメリカ特派員として

の活躍も見事だったが、

帰国後、雑誌「朝日ジャ

ーナル」の編集長として

の活躍も、なかなかのも

のだった。

新聞は組織の力でつく

るものだが、「雑誌は編

集長のものだ」とは、よ

く言われる言葉で、それ

を実証したのが「筑紫ジ

ャーナル」だ。「新人類

という流行語をはやらせ

たり、硬派雑誌にどん

ん「文化」を注入したり

……。

また、朝日ジャーナ

ルの廃刊後は、本多勝

一さんが立ち上げた雑

誌、週刊「金曜日」の

編集委員に最後まで名

を連ねたことも特筆し

ていい。

というのは、TBSの

報道局長などを務めた金

平茂紀氏がモスクワ特派

員時代に「金曜日」に連

載記事を書いたところ、

上司から「ああいうこ

ろに書くのは君のため

にならない」と注意され、

やめたことがあったとい

う。おそらく筑紫さん

にも同じような「圧力」

があったに違いない

が、断固拒否していた

のだろう。

彼の朝日ジャーナル以

来の「雑誌好き」もあつ

たろうが、それより、「金

曜日」の編集委員に名を

連ねること自体が、彼ら

しいバランス感覚の取り

方だったように私には思

われる。

このこともわかるよ

うに、筑紫さんの特質は

その関心の幅の広さと絶

妙なバランス感覚だった

といえよう。あれだけ言

いたいことをスバズバ言

いながら、人から恨みを

買わないだけでなく、多

くの人から信頼され、ま

た驚くほど多くの友人を

もっていたのもその表わ

れた。その点だけでも、

たぐいまれなジャーナリ

ストだった。

リレー時評



J. C. J. 代表委員 石崎一

世界金融危機は、次第に深刻な世界同時不況に

つたが、今秋以降、次第に

入る様相を呈している。

に实体经济に深刻な影響

が出始めた。GM(ゼネ

ラル・モーターズ)など

破綻は有力ファンドや中

小金融機関、証券会社の

破綻を招き、今年9月

には有力証券会社リーマン

・ブラザーズが64兆円の

不良債権・債務を抱えて

倒産。さらにシティグル

ープ、ゴールドマンサッ

クスなど最大手の銀行、

証券会社が相次いで経営

危機に陥った。

は他業種を含め広範な不

況色に覆われている。

日、米、欧州、中国、

インドなど新興国を加え

た20力国・地域が参加し

た緊急首脳会議(G20)

が11月中旬、ワシントン

原因は、ミルトン・フリ

ードマン(1976年度

ノーベル経済学賞)を教

祖とする新自由主義経済

学説、言い換えれば新自

由主義にある。規制緩

和、政府の役割の縮小な

らみると、対米従属、

その片棒を担ぐ主張・発

言が多く、新聞の経済記

事の論調も同様だった。

しかし、新自由主義は

破綻したのである。麻生

政権の迷走状態を経済面

からみると、対米従属、

その片棒を担ぐ主張・発

言が多く、新聞の経済記

事の論調も同様だった。

しかし、新自由主義は

破綻したのである。麻生

政権の迷走状態を経済面

からみると、対米従属、

その片棒を担ぐ主張・発

言が多く、新聞の経済記

事の論調も同様だった。

しかし、新自由主義は

破綻したのである。麻生

政権の迷走状態を経済面

からみると、対米従属、

その片棒を担ぐ主張・発

言が多く、新聞の経済記

事の論調も同様だった。

しかし、新自由主義は

破綻したのである。麻生

政権の迷走状態を経済面

からみると、対米従属、

その片棒を担ぐ主張・発

言が多く、新聞の経済記

事の論調も同様だった。

しかし、新自由主義は

破綻したのである。麻生

政権の迷走状態を経済面

からみると、対米従属、

その片棒を担ぐ主張・発

言が多く、新聞の経済記

事の論調も同様だった。

《渡辺治氏講演要旨》

強い問題意識もった報道を

相次ぐ政権の崩壊と動

揺、金融恐慌を引き金と

する世界同時不況の衝

撃、悲惨な事件、格差・

貧困報道、展望の見えな

い政権交代など、「いま

日本はどうなっているの

か」を考えると、①なぜ

自民党政権はがたがたに

なったか? ②麻生政権

はどつしよつとしている

のか? ③民主党はどん

な政党か? ④政権交代

で日本はよくなるのか?

どつすれば政治は変わ

るのか? ⑤民主的ジャ

ーナリストの役割という

5点を検証しなければな

らない。

06年の総選挙で大勝し

た小泉内閣が推し進めた

構造改革は、リストラ、

無保険者、労働者使い捨

て、ワーキング・プアな

らみると、対米従属、

その片棒を担ぐ主張・発

言が多く、新聞の経済記

れるが、民主党中心の連

合政権になるのではない

か。今後進めなければな

らないのは、「九条の会

や反貧困の運動を強化し

た反改憲、反構造改革

だ。首都圏青年ユニオ

ン、連合、全労連との連

携を強化した運動のパー

ジョンアップが必要だ。

90年代からマスコミの

構造変化も起こってい

る。横並び報道から政党

支持を明確に出すように

なった。NHKによる非

正規労働、格差・貧困な

どの自民党批判番組に始

まり、日本テレビも「ネ

ットカフェ難民」などの

社会問題を旺盛に取り上

げて注目された。これら

は新しい芽といえよう。

ジャーナリストは、代案

を常に念頭に置き、より

強い問題意識を持って深

く掘り下げた報道をして

ほしい。

吉田悦子

大野晃のスポーツコラム

この一年の日本スポーツ界を振り返ると、競技を統括する団体役員の姿勢に不信を抱かせるケースが多かった。

北京五輪では、競泳水着メーカーに振り回された水泳や、競技者保護を怠りマラソンの主力代表がケガで欠場して惨敗し

た陸上、さらには新ルールに対応した指導の不足

興行利益を優先のツケ噴出

で不振だった柔道や体操。サッカーJリーグはク

野球でも、社会人野球投手が頭越しに米大リーグ入りの動きを見せると「ドラフトの指名を拒否して海外の球団と契約し

内紛が激化し、政治家を頼って混乱を收拾した。日本オリンピック委員会

を絶たない部内暴力対策に動こうとしない。イベント興行の利益追求には熱心だが、競技者の環境

ゆがみを助長したことは否定できない。不景気の嵐が興行優先の先行きに暗い影を落とす。競技団体の主体的な

後期高齢者医療制度を、健康保険料を払えない人たちが保険証を取り上げられているのをどう



テレビの本音

労働者のことや、内定取り消し問題については時間を割いて伝え始めた。テレビの報道も捨てたものではない。

そんな最中に、氏家斉一郎日本テレビ取締役会議長のとんでもない発言

日テレ・氏家取締役会議長の公私混同発言を許すな

局の選挙報道に影響の恐れも

今年の2月には、古森重隆NHK経営委員長が自民党衆議院議員の資金

自公政権の崩壊目前というときに、「石原を総理大臣に」ということ自体ピンとがずれている

タクシン政権を巡る対立と抗争

タイ空港占拠に遭遇して

タイのタクシン・ソムチャイ政権をめぐる、反対派の「市民民主化同盟

せ、「心配ない」とだけ言

人々も、普段はしない政治の話をややくよくよに

にはタクシン政権によって既得権益を奪われた旧権力層がいるといわれ

中縄リポート

連載

PADはタクシン元首相の汚職やワンマン政治を糾弾して支持を広げ、

PADはタクシン元首相の汚職やワンマン政治を糾弾して支持を広げ、

PADはタクシン元首相の汚職やワンマン政治を糾弾して支持を広げ、

PADはタクシン元首相の汚職やワンマン政治を糾弾して支持を広げ、

最初にこのニュースに触れたのは、北部の古都

チャオプラヤ川を行き来する定期船から、前夜

決でソムチャイ政権が崩壊し「司法機関と政府が

タクシン政権は、それまでの政治でないがしろ

世界遺産を擁する国内屈指の観光都市は、そん

な喧噪の外にあるように見えた。笑顔で迎えてく

れた宿のおやじにそう言う

と、急に顔をこわばら

世界遺産を擁する国内屈指の観光都市は、そん

な喧噪の外にあるように見えた。笑顔で迎えてく

れた宿のおやじにそう言う

と、急に顔をこわばら

世界遺産を擁する国内屈指の観光都市は、そん

な喧噪の外にあるように見えた。笑顔で迎えてく

れた宿のおやじにそう言う

と、急に顔をこわばら

世界遺産を擁する国内屈指の観光都市は、そん

な喧噪の外にあるように見えた。笑顔で迎えてく

れた宿のおやじにそう言う

と、急に顔をこわばら

世界遺産を擁する国内屈指の観光都市は、そん

な喧噪の外にあるように見えた。笑顔で迎えてく

れた宿のおやじにそう言う

と、急に顔をこわばら

県は判決通り埋め立て中止を

これは画期的であり、沖縄県内だけでなく全国的にも大きな波紋を投げかけた。

一度決まったら、どんなに不合理・理不尽でも

この県民・市民の共通認識となり、世論調査では埋め立て反対が圧倒的に多い。しかしながら、控訴

の県民・市民の共通認識となり、世論調査では埋め立て反対が圧倒的に多い。しかしながら、控訴

の県民・市民の共通認識となり、世論調査では埋め立て反対が圧倒的に多い。しかしながら、控訴

これは画期的であり、沖縄県内だけでなく全国的にも大きな波紋を投げかけた。

一度決まったら、どんなに不合理・理不尽でも

この県民・市民の共通認識となり、世論調査では埋め立て反対が圧倒的に多い。しかしながら、控訴

の県民・市民の共通認識となり、世論調査では埋め立て反対が圧倒的に多い。しかしながら、控訴

の県民・市民の共通認識となり、世論調査では埋め立て反対が圧倒的に多い。しかしながら、控訴



伊藤力司の
ワールド・ウォッチ

離独立、以来3回の戦争を戦った両国の宿命的な対立がある。さらにはインドのカースト制の根幹を支えるヒンズー至上主義と、カーストで差別さ

11月末インド最大の商都ムンバイを2昼夜半にわたり恐怖に陥れた同時テロ事件。邦人を含む500人近い死傷者を出す大惨事を引き起こしたのは、ラシユカル・エ・トイバ(高潔な戦士たち)

テロの背景に独立以来の印パ確執

教、キリスト教が共存する非宗教国家インドの独立を望んだが、圧倒的多数のヒンズー教徒はイスラム教徒をカースト外の不可触賤民として差別、ミール領有を目指し印パ

言論・表現の自由はいま

横浜事件再審裁判で考える

戦前の国内弾圧を語らぬ右派

《暴走と追認の拡大再生産》

田母神「暴走」発言は、その基盤として批判・克服しておかねばならぬ。太平洋戦争に至る現代史は、右翼ファシストの暴走、中央権力のたしなめ、ポースと追認、やがて中央権力自体の暴走という過程のくりかえしであった。田母神への共鳴勢力は決して小さくはないのである。

対、国際反戦デーを呼びかける作家であった。近代史上最大の言論・思想弾圧事件「横浜事件」は、反戦言論・思想根たやしをもくろむものであった。弾圧の武器は治安維持法、特高(特別高等警察)。

田母神らに共通するのは、戦争に至る「外圧」は声高に論ずるが、国内弾圧には口をつぐむことである。山本宣治はなぜ暗殺されたか。彼は対支非干渉同盟委員長であった(山東出兵反対)。小林多喜二はなぜ虐殺されたか。彼は満州侵略に反



横浜事件集会＝第4次横浜事件再審開始決定を受けて

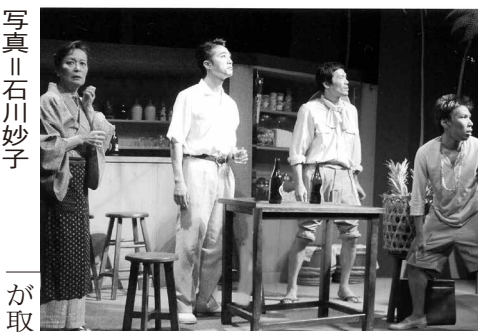
機は国家秘密法案の登場(85年)とのべた。同法案を治安維持法の再来、言論・思想の自由危機ととらえたのだ。同時に「歴史のけじめをつけさせること」(畑中繁雄・中央公論編集長)、「国の誤りを正すこと」(小野貞・『改造』編集者、康人氏夫人)の言葉のように、戦争責任・国家責任の決着を求める運動として出発したのだ。

《ジャーナリズムの報道と見識》
事件捏造の国家責任・司法責任を初めて認定した第四次請求判決(08年10月、横浜地裁)、拷問事実を認めた第三次請求高裁判決(05年3月)を除き、裁判所は門前払い、免訴を重ね、歴

史の真実に向き合うことから逃げ続けた。ジャーナリズムは裁判所の責任回避に総じて批判的ではあったが、評価を誤った

《歴史の記憶に関する法律》
07年12月、スペイン国会で「市民戦争および独裁の間に、迫害または侵害を受けた者の権利を承認して、救済手段を設けるための法律」(略称「歴史の記憶に関する法律」)が成立した。市民戦争、フランコ独裁のすべての犠牲者救済と補償、刑罰の違法を宣言、「歴史の記憶ドキュメントセンタ

戦争(47-49年)に踏み切った。両国はその後2回も戦火を交えたが、カシミール紛争は未解決のまま両国とも核武装という、極めて危険な宿敵関係にある。ここ数年関係改善を目指す外交努力が続けられたが、ムンバイ・テロで関係は再び悪化した。同時テロを起こした



写真Ⅱ石川妙子
24歳になる青年中川勇

南洋諸島——それは日本が第一次世界大戦後、それまでドイツ領だった南太平洋・ミクロネシアの島々を棚ボタ式に手に入れた植民地である。パラオ島もそのうちのひとつで、1922年には同島に南洋庁を設置して移民政策を押し進め、一時は5万を超える日本人が定住して現地人の数を上回るほどであったといわれる。

だ。重大ニュースなのに日本マスコミはほとんど報しない。かつての「戦争犯罪および人道に反する罪時効不適用条約」(68年、国連)成立時の無反応を想起させるが、戦争責任と人権に関する国際潮流への鈍感さは、日本マスコミの宿痼であろうか。

《言論・表現の自由危機を意図しない危機》
沖縄集団自決、従軍慰安婦問題等、戦争責任・歴史認識をめぐるせめぎ合いと関連しつつ、言論

島には沖縄出身の者も多く、「がじゅまる」という名の呑み屋兼雑貨屋の女主人知花ゆり(檜よしえ)もその一人である。ユタであった彼女の祈りで、かすらの魂は中川青年から離れ去るが、替わりに現地の鉱業所の所長・永松(岩田安生)の娘常子(荒井ゆ美)が取り付いて離れない

二(成田独歩)も、「南洋アルミニウム」の社員としてパラオ島にやってきた。そこで沖縄出身の美しい女性(妃宮麗子)と出会い、その虜となる。しかし彼女は、かつて愛を誓った男の後を追ってこの島にやってきて、非業の最期を遂げたかすらという女性の魂であった。

表現の自由の危機が進行している。01年1月のNHK番組改変事件、すなわち政治家介入・自己検閲事件とそれをめぐる訴訟経過はその一つである。東京高裁はNHKの自己検閲は言論・表現の自由(権力からの自由)原理にもとり、右原理に基づいて編集権の放棄と認定した。(07年1月)。ところが最高裁は、政治家介入事実は無視、自己検閲は正常な自己検閲行使と認定した。(08年6月)。月とスッポンに例

血のハルコ(三十尾知佳)ともに好演」という少女の父親を探すため、中川は彼女を日本へ連れて行ってやろうとする。だが、ときあたかも41年12月8日、日本軍は「西太平洋ハワイにおいて米英軍と戦争状態に入った」のである……。

つ、押されつつが現状なのである。成果をより確かなものにし、展望を築いていくためにも、ビラ配布訴訟、日の丸・君が代訴訟、横浜事件再審裁判などなど現代日本における言論・表現の自由、思想・良心の自由にかかわり、歴史認識にもかかわる運動が、大きな統一的運動へ発展させられていくべき時期ではなからうか。

橋本 進

演劇回り舞台

アリストパネスカンパニー『パラオ島の自由と憂鬱』

本土空襲の基地となった戦前の日本領だった島々

作・演出Ⅱ黒川欣映。(11月21-30日 若林・スタジオARにて上演)

安住邦男

水俣から、未来へ

熊本日日新聞編

「しつこい報道」で決る悲劇の本質

思わず息をのむ絶景の「魚湧く海」で水俣の悲劇は起きた。偏見と差別、戸惑いと悲しみ…原告・家族・医師・行政…訴訟を取材し、海外に飛ぶ、問題の本質に迫る。07年JCJ大賞を受賞した連載企画が基になった。認定を求める闘い、

書評

本・BOOK・ほん

(価格は税別です)



このルポが、新聞連載をまとめたものではなく、結果的に「書き下ろし」になったのも、実は新聞が考えるべき問題ではないかと思う。

12月4日付東京新聞は社会面で、派遣生活18年の54歳の労働者がいきなり雇い止めされたことを、また5日付朝日新聞は、前夜日比谷野音で開かれた集会の記事を一面で、いずれもトップで報じ話題となった。毎日も4日付の大阪版で「日本の足元」の企画で「非正規の現場」を扱った。



「読者からの手紙」が連載に呼応する。強く生きる勇気を…児童の思いを歌に託す、「同じ歳月…その年、私は恵楓園に入っ

「読者からの手紙」が連載に呼応する。強く生きる勇気を…児童の思いを歌に託す、「同じ歳月…その年、私は恵楓園に入っ

「読者からの手紙」が連載に呼応する。強く生きる勇気を…児童の思いを歌に託す、「同じ歳月…その年、私は恵楓園に入っ

「読者からの手紙」が連載に呼応する。強く生きる勇気を…児童の思いを歌に託す、「同じ歳月…その年、私は恵楓園に入っ

「読者からの手紙」が連載に呼応する。強く生きる勇気を…児童の思いを歌に託す、「同じ歳月…その年、私は恵楓園に入っ

貧困の現場

東海林 智

記者の確かなメッセージが伝わる 労働と貧困の実態を衝くルポ

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

非営利放送とは何か

松浦さと子 小山帥人編著

コミュニティ放送局の現在と 未来を多様な視点から描く

いま多くの地域で伸びているのが、コミュニティ放送局である。地域の事情に対して関心を示さないメジャーテレビに代わって、地域の放送局が繁殖を始めたのである。

いま多くの地域で伸びているのが、コミュニティ放送局である。地域の事情に対して関心を示さないメジャーテレビに代わって、地域の放送局が繁殖を始めたのである。

いま多くの地域で伸びているのが、コミュニティ放送局である。地域の事情に対して関心を示さないメジャーテレビに代わって、地域の放送局が繁殖を始めたのである。

いま多くの地域で伸びているのが、コミュニティ放送局である。地域の事情に対して関心を示さないメジャーテレビに代わって、地域の放送局が繁殖を始めたのである。

いま多くの地域で伸びているのが、コミュニティ放送局である。地域の事情に対して関心を示さないメジャーテレビに代わって、地域の放送局が繁殖を始めたのである。

いま多くの地域で伸びているのが、コミュニティ放送局である。地域の事情に対して関心を示さないメジャーテレビに代わって、地域の放送局が繁殖を始めたのである。

短歌

現代の窓

評・小石雅夫

田村 広志(かりん)

歌うとは持ち続けること満身に戦史の親父を抱えて生きる 「短歌」12月号「蟻の兵隊」

戦争の底値を引きすり出しくる『731』『蟻の兵隊』『阿片王』 同

生体の実験記憶墓場まで持つていけ！右井に忠実元兵士ら 同

違憲なぞ「関係ねえって」言つかやい田母神航空幕僚長ヤイ 同

戦後六十三年—というこんな言い方さえ、これだけではその内幕がそろそろ通じないのかも知れないと、ふとこの頃思いあたることがある。先の戦争での戦場体験者は既に少なく、親兄弟を奪われた記憶を鮮明に持つ世代さえも減少している。

一首目は、いまもって戦死した父親の記憶を「満身」に「抱き」、そのことを歌をつくる動機でもあるのだと自己確認している。この思いは筆者の思いともそのままに重なってくる。

二首目は、『731』青木富美子、『蟻の兵隊』池谷薫、『阿片王』佐野真一、それぞれ戦争の暗部と悲惨を衝いた話題の本であり、まさに戦争のもたらす「底値」を引きすり出している。

三首目は、ハルビン郊外平房地区の731部隊で、石井四郎指揮の下に十二年間も行われた残酷な生体実験のこと。細菌、毒ガス、電気、凍傷、食物、生体解剖などを様々行い、ここだけで三千人もの犠牲者があった。敗走に際し施設を爆破、マルタと称した実験材料の捕虜も殺害、隊員には絶対の秘密を厳命、罪の重大さにほとんどの隊員は沈黙した。石井は実験データをアメリカに引き渡すことと引き換えに戦犯を免れてしまった。

四首目は、名古屋高裁での自衛隊イラク派遣の違憲判決確定に対するもの。右の一首から三首までを踏まえて、何とも許しがたい思いが吐露されている。

（新日本歌人協会事務局長）

『ルポ 内部告発』

村山治、奥山俊宏、横山蔵利著

(朝日新書 760円)

金沢大学付属病院の打出喜義医師は、同病院で抗ガン剤の「人体実験」が行われたことを告発した。発端は友人の妻が抗ガン剤の投与を受け、激しい副作用に見舞われたことだ。相談を受けた内出医師が、患者の治療記録を見たところ、無断で臨床試験の対象にされていたことが分かった。

内部告発が続出している。医師だけではなく、食肉加工会社の元常務から、大阪府の職員、さらには愛知県警の警官まで

告発者の幅は広い。2006年には、公益通報者保護法が施行された。このような流れの中で、内部告発を奨励する企業も現れる。たとえばベネッセは、会社幹部の不正をも告発できるように取締役会から独立したホットラインを設置している。

本書には、綿密な取材に裏付けられた内部告発をめぐる話が克明に描かれている。筆者は本書の著者に尋ねてみたい。朝日新聞の紙面で、読売新聞の偽装部数についての内部告発を取り上げる勇気がありますか、と。

黒藪哲哉

『カムイ伝講義』

田中優子著

(小学館 1500円)

白土三平のコミック代表作『カムイ伝』三十八巻を素材に、江戸時代の複雑な社会構造を読み解くという、まことに野心的な大学の授業だ。「身分制度」や「鎖国」といった固定観念で江戸時代をとらえられないことがよく分る。

著者は、『カムイ伝』に登場する被差別民や農民、下級武士らの暮らしと労働・生産の実態のリアルな描写を手がかりに、百姓たちの新田開作と治水事業、綿花栽培や養蚕の作業、さらに身分制度の形骸化と身分内格差、一揆の実態などを、最

新の研究動向も取り入れつつ詳しく解説する。綿花栽培に鰯漁が関係しているとか、「土農工商」という身分の違いよりも同じ身分や組織内での格差の方が大きいとか、これが結構、面白い。人糞を下肥として売買する循環型社会であったなど、現代への問いかけも随所にこめられている。

著者は物づくりの現場にこたわっているが、それは額に汗する日々の労働のなかに「地についた人間の生き方」の基本があることを、学生に知ってほしいと願っているからだろう。

菅原正伯



都教委の官僚主義と闘う

『続・君が代不起立』

処分攻撃を受ける個人の内面

この『君が代不起立』(06年12月)の続編は、東京都の中学校教員・根津公子さんと養護学校教員・河原井雅子さんの闘いを記録したもの。二人は卒・入学式での「日の丸・君が代」に対して不起立をめぐり処分された。その後も処分は続き、根津さんは何度も都教委に呼び出され、調査を受ける。

丸・君が代」に対して不起立をめぐり処分された。その後も処分は続き、根津さんは何度も都教委に呼び出され、調査を受ける。

制」に反対だという根津前だろ。義務教育なんだから」と、停職中に校門の前で立つ根津さんに囁み付く男性も描かれる。かつての愛国心教育は戦争への道を開いたたの思いは制作者(松原明、

井さんたちの前に立ちあがるのは東京都教育委員会の「官僚主義」だ。都教委は根津さんに研修を課し、事情聴取し、様々な名目で処分する。

「闘い」といっても根津さん、河原井さんの行動は、不起立を貫き、処分を受け、その理由を当局に問いただすこと。しかし守られているのは最も重要なもの、個人の内面の自由だ。



結局、08年春の時点で、根津さんの解雇処分は出されなかった。予断は許されないが運動の広がりは都教委のパワーハラスメント同様の行動を撃つしているようだ。

問い合わせビデオプレス(3530)5088http://vpres.s.la.cocan.jp/kim i2.html 保坂義久

2年余にわたりマスコミの評を執筆してきたが、最近の政治の劣化は目を覆いたくなるほどだ。

主要メディアの世論調査は、相次いで内閣支持率急落を伝えている。今回は朝日222%、読売

が急速に進み、政界再編絡みの活動が活発化している。12月9日付読売社説も指摘するように、ほんの数月前に首相を選

んだのは、ほかならぬ自民党だ。その責任を棚上げしてはなるまい。師走の政局は、混乱と流動化の様相を強めてきた。4

金融危機は世界同時不況へと推移し、日本経済にも暗雲が立ちこめる。その象徴がトヨタ・シヨックだ。トヨタは北米市場

速している。生産ないし雇用調整は始まったばかりだ。トヨタ失速の衝撃は、地域経済や自治体財政にも深刻な影響をもた

化と新自由主義という潮流を揺り動かしている。流を揺り動かしている。プッシュ政権の極端なまでの新自由主義政策は破綻し、オバマ政権にチェン

長期的な潮流をどう読者に伝えるか。新聞の役割を問いたい。「変革期のジャーナリズム」と題した10月19日付中日新聞社説では、あふれる情報を

選別、真偽を見極めて評価分析して、論評・主張するものが「ニュース鑑定人」としての論議室の任務とする。これからの新聞に課せられている役割と任務を足もたら検証していきたい。山田 明

追いついた。貧困や格差・不安社会の厳しい現実が、各紙社会面からもうかがえる。

新聞

『ニュース鑑定人』の力量を

・毎日211%とほぼ同じ。「総選挙の顔」「党首力」を期待されて発足した麻生政権は、早くも政権末期の危険水域だ。こ

が急速に進み、政界再編絡みの活動が活発化している。12月9日付読売社説も指摘するように、ほんの数月前に首相を選

月号で「今こそ新たな民意を問え」と訴えたが、年の終わりに再度同じ主張をせねばならない。

政治の混乱と劣化が進むなかで、アメリカ発の「減産ドミノ」で期間従業員などのリストが加

今回の金融危機や世界同時不況は、グローバル

「経済危機の深度と震度」で6人の経済学者が様々に議論し、「サブプライム危機の帰趨は依然として不透明」との結論を確認している。

「新自由主義の時代に對する決別と転換」を求める『世界』編集部の問題提起は重要だ。アメリカの終わりが、世界の終わりではない。最終号とわりではない。最終号となつた『月刊現代』1月号で、ノンフィクション作家の吉田司氏が「我が友・団塊に告ぐ、ワーキングプアと連帯せよ」で激しく気を吐いている。

ワーカーの若者たちだが、派遣労働の苛酷な現実に対して異議申し立てをするデモや集会が相次いでいることを、「日本でもボツとひとつの希望の明かりが見えるのだ」と書いている。団塊ジュニアの若者に取材しながら、ディスコミュニケーションと世代間格差の溝を崩すことを呼びかける。誰も、恥の多い生涯を送りたくはない。

荒屋敷 宏

月間マスコミ批評

作家の太宰治は、小説『人間失格』で、思いつく固有名詞を悲劇名詞に「喜劇名詞」と分類する

「喜劇名詞」と分類するは、380人の非正規労働者の首切りを発表した

記者会見で、大不況は工場の再編の「絶好のチャンスだ」と述べた(12月12日)。資本家は、大不況を喜劇名詞に分類するよ

だ。

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

出版

ワーキングプアと連帯せよ

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

「07年」に達していると

NHK経営委を視聴者の手に 限りなく不透明な選考の基準・過程

都内でシンポジウム



「政府、財界主導のNHK経営委員会を視聴者の手に取り戻そう」と、11月22日都内でシンポジウムが開かれた。前日の参議院で4名の政府推薦候補のうち3名が不同意となった事態を受け、80名

を超える市民が参加して活発な討論が行われた。

基調講演に立った元立命館大学教授松田浩氏は、次期経営計画に対し「受信料10%値下げ」を強引に盛り込んで議決した経営委員会を強く批判。背景には政府が目論む支払い義務制の意図が隠されている、と指摘した。

シンポジウムの司会は、ジャーナリストの野中章弘氏。NHK経営委員を二期務めた国立音楽大学名誉教授の小林緑氏。開かれたNHK経営委員会をめざす会（世話人代表・松田浩 桂敬一 野中章弘）構成団体「NHK問題京都連絡会、NHK問題を考える会（兵庫）NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ、日本ジャーナリスト会議、放送を語る会



桂敬一氏



湯山哲守氏

は、自身への就任要請について、「総務省のデータベースでヒットして候補に挙げられたらしい」とエピソードを紹介。デジタル放送への移行について、その弊害を話題にしようとしたところ、「デジタル化は既に決定していることです」とと事務方から釘をさされ驚いたとのこと。「経営委員の選ばれる過程を透明に。視聴者からの公募にして草の根の主婦などを含めてはどうか」と提言した。

メディア総合研究所長の須藤春夫氏は、視聴者の側からの公募制要求や推薦候補を出すなどの運動が「開かれたNHK」にしてゆくに必要だと強調した。先行経験のあるBBCについては、

紹介された。「全国の都道府県に視聴者団体を作ったNHKに働きかけよう」との発言には多くの賛同が寄せられた。集会は、会推薦の経営委員候補・桂敬一氏、湯山哲守氏への賛同署名をいっそう広げることを呼びかけて終了した。会が取り組んだ「NHK経営委員の公募・推薦制と古森重隆氏の不再任を求める申し入れ」署名は一万五千ほどに達した。（尾崎孝史 写真も）

桂敬一氏 1935年生まれ。マスコミ研究者。郵政省メディア・ソフト研究会メディア・ルール委員会委員長、テレビ朝日番組審議会委員長。湯山哲守氏 1944年生まれ。物理学研究者。京都大学博士（理学）NHK問題京都連絡会世話人。07年2月からNHKを監視・激励する視聴者コミュニティ共同代表。

「経営委員会の抜本改革を」

各地で急速に運動広がる

政府・財界寄りの色彩が強いNHK経営委員会が抜本的な改革をめざす運動が、各地で広がりをみせている。

当初12月に予定されていた経営委員人事を機

に、委員の公募・推薦制の採用と、委員長として不適格な古森氏の不再任を求めている。視聴者を中心に始まった署名は、この2カ月間で1万5000人を超える盛り上がりを見せていた。

こうした動きの影響もあって、総務省が11月、国会に提出した経営委員4人の人事案は、参院野党の反対で1人を除き不同意という結果に終わった。

この運動の盛り上がり。背景には、10月に、各地の視聴者団体や放送を語る会、日本ジャーナリスト会議など6団体と有識者による「開かれたNHK経営委員会をめざす会」が結成されたこと。さらに「めざす会」が、桂敬一、湯山哲守両氏を経営委員候補として推薦し、強力に運動を進めていることも大いに与っている。

両氏の推薦には、これまでに600人を超える賛同者があり、この中には川口幹夫元会長らNHKのOBをはじめ、奥平

康弘氏、原寿雄氏、内橋克人氏ら各界の著名人名を連ねている。また、近畿など各地で、今回の運動を契機にNHK問題に取り組む組織作りの機運も出ている。

本来、NHKの権力からの自立を保障すべき立場にある経営委員会の人事を、与党・総務省・財界が密室で決める仕組みは、公共放送の主権者で

ある視聴者の立場から見ると、本末転倒だといわざるを得ない。視聴者・市民に開かれた経営委員会を実現するために、「めざす会」をはじめ、各地の視聴者団体や言論界など多様な人々が、どう力を合わせるかができるか、真剣かつ緊急な議論が今求められている。

（石井長世）

戦争後のベトナム発展をみる

共産党幹部・元兵士・学生と懇談



ベトナム反戦世代がその後ベトナムの発展や課題をこの目で見たいというのがツアーのコンセプト。毎月、広告支部のベトナム共産党北東アジア局長カイン氏とは官邸で懇談。「ベトナム航空や入国管理での公務員の横柄な態度など、社会主義を目指す国家としては不安を感じるとの率直な発言も参加者から2、3出る。あとでカイン氏は同行の新婚さんに「このような懇談を越えるとおしゃべりな生活は日本の昭和30年代といったところか。」

会を今後も大いにやりたい」と積極的だったとのこと。ベトナム戦争を兵士として戦い、小説としてその体験を書いた『戦争の悲しみ』の著者バオ・ニン氏とは彼の自宅での懇談会となった。「勝利した側の兵士もまた大きな犠牲を払った」と、戦争を否定する日本の憲法九条をバオ・ニンさんは高く評価。

◎マウスの社会探訪◎

ネットでもジャーナリズムは健在か？

@米国ではインターネットに押されて新聞経営の危機状況が全紙に及んでいる。地方紙（地域）の廃刊が相次いでおり、大手紙でもクリスチャン・サイエンス・モニターが来年4月から日刊を廃止し、インターネットによるニュース配信に切り替える。さらに最大手のひとつトリビューンの破綻が伝えられた（8日）。いずれほとんどの米紙は、日刊からネット配信に切り替わるだろうという観測もされている。@こうした状況でジャーナリズムはネットでこれまでのような役割を果たせるのだろうか。新聞の発行権が新聞人から利益追求を主眼とする資本家に移っており、多数のジャーナリストが解雇され続けている。ジャーナリズムが単なる情報発信に置き換えられてしまわないか。危惧される。

大学の日語学科の学生との交歓会は愉快でした。日本人と似て最初は恥ずかしがり屋で、敷居を越えるとおしゃべりな。この明るさは社会の反映でしょう。人々の生活状態は日本の昭和30年代といったところか。

広告支部 矢野英典